技柔拾葉集 三

伊地知文庫
文庫20
360
5

文庫20
360
5

拾葉集卷第三

目

熊野紀行　秋増基
遠江乃道記　同
子日行幸奉和歌序　平兼盛
庚申夜奉和歌小序　源順
家集の内　曾祢好忠
又　同
又　同

天福歌合序　源為憲
同　同　藤原為政
行幸高陽院庭制和歌序　賀茂保憲
菊乃集の内　同
又　橘正通
應詔和歌序　清少納言
枕草紙抄

扶桑拾葉集巻第三

参議従三位兼行右近衛權中將源朝臣光圀編集

水戸藩文庫

紀行

秋　増補

いつくりしたに有きん世ぬのまかいけんを
おとしいて世中ゆ行さとに有これこと立て
つとやまりいりもりらふやいにかみもそ
我ゆ行ちみとはけるはるとしいるへ有りいるぬ
らをいてる神無月の十日無野まてきか
くいとなりらもかをををとの有りしに我ゆにるし
ゆうをけしもいて思いてらしをもをを

てらす京うら出る月かゆ[illegible]とまりぬるの
庵月やどりうつして松の梢か風さそふ[illegible]の
おとも悲しい物か茶の湯うら毎ゆふ[illegible]のすみ
かもぬ紙とうれゆを引ゆ[illegible]ゆふ[illegible]ぬ
神しも[illegible]なかめうつ[illegible]

ちかし[illegible]わらこ出る岩清水
神のうら[illegible]ちうや

やれう二日と[illegible]日の[illegible]
つかぬうれしはかるる[illegible]
よふ江かうれうる[illegible]
歌よやいんす恒の出のいとちいらふ[illegible]

秋乃若葉[illegible]
[illegible]
[illegible]
人去れ[illegible]

よしの[illegible]衣のぬいとみのえの
神さいよけ[illegible]の梢

わて[illegible]
[illegible]
[illegible]の世の[illegible]と[illegible]
[illegible]いとうん[illegible]
[illegible]

春は花と見れば春のみちとうるせしみわたしの梅の
かをりにかをる人の袖の香の月の月とみるらんせきえの
あるかをりにそなへ給へ
世中といふ池てんのらんらんの
きみのえをのいる松とぬのまし
いつみの法をのこもるまつ有へし
我はまへとの月の月の物もとり
去のしのみをみまいあえいものうて
紀の国の映上のうかをかをもしる月いとねすの法うし
こ法法は天人常よくうてて、ひとの物とをいたく
ものをかをり春ふ有しほとをとわたしろしこをしのをとも

人ををこ、ひのうしかり夜のひをりまをかのうふ女
の春のうちうちぬ風も世をりもしてをうくを春
友とをくを春とをうをくを世紀をもをを春をれ
をめをりかりの島ものまを海時をもりうして
をうをを二をのの羽衣ふつふ
をうを二をのの羽衣ふつふ
むへりをを井の浦ふををを春
月乃海のをうをををしをと波の去りの梅と見て
月ふ辰ををををををを文をを紀をを
ををををしををををををををををを
波いとをうをしををををををををを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

なるりうこれいみなく佛乃出給へるおもてまへ
らんとする經也天人ぞなくてらす玉しとなと
以て言葉見しまおの世をおもふ事ともかなと
このうたをうけてかくれるなをこのかさらよわ
しのいとやしく以てのたまへる松のかはもとある山なるその
中よりとりたてみちびきたまふる神の山と名
法ありうるかの毎とまへおもふ
所ふの若うを久しうきを毎
世又日々毎をうこいうとうし
人間のあるをうの補佐うし風を
わふうる才の葉しのうに有り

天人のおりてらやうしをとかたい
天使人いとおもうるもとを
法乃ちをはしたう地ちを毎
四十九院のいとやのうをとをとは
ちう風をもうおく物をの
う風を我うを衣をわしの
所をもはをもる事を言葉
をてう海とを不ものの
と法いをやををほしをの
う使をみをみをうをほのををと
をてう海とを不をををて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

宮古うるはしたちのうみ
のいえでくもわすれもすらは
ゆくらとまりて京とうつまえて
みやこのとうはまんまろ東海道
こまはたらくもゆせうきをはし
きたの山の水はあらうまて
きたの水はゆき衣をいぬしなりの
ゆくしもとのまのまぬらはる
人はなくらくらく袖とぬれて関出るはらの松いて
うあつけるあいはつまちの関もも
花をいえまとめらくあ

とくのらくとめとめとめるか
うはあるみかいあるとあるはるはる
とくのくはみくもはく
かみ山のうはは雲のあるとと
の夏山はまくうの郭公
ふくのくれのくれ
はつくさかくしのるくと
すみるれの帰るとのしい妻にて
きいゆくくるの鳴くはの
くるくるの山とはくくいかはぬ
雨くくまくはんはくて

[illegible]

[illegible]

又

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人去れをくるゆるしてのおもて
なりしをわすれずとて世は
らのこゝろなしたると
中もてわらはるゝぬゆゑ
あるゝ濃岩のうちと見せりん
あるつゝもて後面のもりはちらしかくおもえる
消なんいとゝ初かなかなかなかなかな
うのおもてのうかうと
郭公乃うゝ濃とゆゝ
こゝろ濃ゝ初てのみをまつほとゝゝた
去ゝ濃ゝこのことのかゝらせよ

うこゝ空ゝのなかとゝ
古乃空乃こゝ空にてうとうはこゝろの
なくとうゝとおもいるうゝ
ぬるゝのゝかゝとゝのうゝ濃てきうとゝ
我なゝてゝをゝのうゝ濃ゝ
うゝふゝうゝはまうゝあてき
夜毎かゝゝゝのうゝ空ゝてゝ
ゝとゝはうゝ濃ゝをゆゝ寛ゝうゝ
うゝ濃ゝゝゝ
五月雨毎ゝゝゝゝ
世中のゝゝゝのゝ濃ゝゝゝ

ものゝ花のまゝ時雨の帰り行ふ
いとゝうたゝ花のかたちとかの
なくいもしらや恵一うゑ〳〵い
山寺ら梅とうて思ふくらとみて
宮古のい去仏の梅も咲て
ゆくかとうなまれ夜のとゝん
五月のなくと
我ふうを知りしらや恵の春
ら毎月もし郭〳〵郭ら郭
六月七日まらはらあらく

夏山の木のゝ陰ゝとゝ夜の
ゆるゝなゆゆうのゝふ世ゝら郭
夜ゝかゝ月とゝもむゝ河つふゝ
つゝしいかゝくまゝ花も夜ゝ
ん〳〵毎ゝとの夜ゝ松元の月
つゝゝゝよ花ゝゝゝまに夜ゆくまて行て
空ゝるゝ月みのゝゝゝ泳もし
河ゝゝゝとのも月ゝゝゝゝ毎
かゝ月の六日夜の巻よかゝて行し
空ゝいゝかゝくらんゝする毎巻ゝ
いゝゝゝゆゝゝ毎ゆゝゝゝ

七日の夜とめてかへる人のいとをしう
あはれなるものの羽衣をきてとぶ
うくてやうやうしと人のおもふ舞
にあるべきうしろめたなきを思ひけるに
七夕とをとうとんとうとんとも
くもゐにいみなめりしきをる

又

ひとをとりてたのめてけたれ
いとかうはかなしとなれと
ある俗のをとをみるをとこ
去る夜のとくみ咲りる女郎花

夜すがらやいまはとてかへるあ
男のこと不ものかからん人のをとをすりはく泣く人は
後をしをとをもしみなんとをせてけるを
秋をたたんるを乱生山
ものつまをしいの鳴と
をてをかわるを梅の夜もすら
後れのまをふしもしいなを
ある僧のをりけるをとをえてけるを
君か思ふをこの恋一人をれ
もとをけるをなををををなるを

業といとたかう極てはけるものかけはんとそ
つきはて

みはてぬ古人は志て新年
この歌ちかはぬまりうへのとるん
とちなりまとのはかこ男女はけとはけ
しるかくらとはけて
をの原のしら陽はうれしはうの
しかとのみうく神もなれ学
のいのをとうへとの墓というう古れみはけ
つうた時志れ心ちのとうの
ちうこをを麻もはをとれる

のいとはしはけるの
京ちう初しうはるの人の用又ちはのはなはは
ー人だををはうれしかはけ
今むうをはへや見ま一面ちは
むーのをしのはのせなうをは
業はしをのつうのとはのるへはれのて九日
うはうはるへはをまはをまはの男うのと
ちへふはをへとうへ花とををうし
風うはるようへ・ふ風はなへ
ちの物ま一はけ考るま

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

庚申夜奉傚歌小序

源順

伊勢のいはらの宮秋野はすでに宮よりわうらはて後そのあれまもなくなりてのちはつかるるなりし夜かの庚申のよはのつれなるものしに夜とはたくらもあるすいらとこたへしもみをのしらふらうなとをとめ人はいつのこころよりかはるまさりもあるまさりもあるまさりもあ

世はうき雨に雨ふりつゝ
ぬるまさへ世はとりて
のゝしの秋をれ雲をしらてはきつゝわるかを
ゆくゝもかこに御うみあるしゆくゝみをいとゆく
ゝんゝゝ今のゝ月をみるうゝ後のゝ見よとて
うゝとゝてゝゝぬゝゝ世ゝゝゝにあせゝとかゝゝぬゝの香り

夜と寒みうゝにとゝ松風あり
うみを引ゝしゝゝゝ代をぬゝゝん

蔵九集の月

曾祢好忠

ゝのゝゝゝ

同

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

又

[illegible]

同

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

行幸高陽院應製和歌序

善滋為政

おほやしまの宮天の下をみそなはしまして
日の本はいとうるはしくとゝのほりぬ
ときこしめしてよろこびたまふ
又春の花の
おもしろきものの少きをうれひたまふ
ものの少きをうれひたまふ
天福とゝのへたまひて三とせの秋の
月の末つかたの十日まいりたまふ
行幸高陽院應製和歌序

善滋為政

おほやしまの宮天の下をみそなはしまして
日の本はいとうるはしくとゝのほりぬ
ときこしめしてよろこびたまふ
又春の花の
おもしろきものの少きをうれひ
ものの少きをうれひたまふ
天福とゝのへたまひて三とせの秋の
月の末つかたの十日まいりたまふ

はるかなる年月の雲の風
あるこゝろをもて朝夕をうるはしくとゝのへ
ふるまひあるものの人のこゝろ世をおもひ
とゝのへたまふ
せの山の雲はるかに御かうい世をうに百姓
の心をいたしたまふ
とゝのへたまふ
つゝしみたまふ
うゝしみたまふ
世の山とゝのへたまふ
池のうゝしみたまふ

中宮七月の十日やうの日かはらけ
ふきあはせのうたあまたさぶらはせ給
うたは御かたはらにおかせ給
しくとなるべし　東宮の月
さの上達部一度上人ばかりにて
みとの殿と申す　和哥
ばうとばうとこそいふめれ
ゆまうに言葉のこゑ
ゆまうにて花の
人なみなる水
ゆまのうしろめたき

かとばかりせうもうしてさうもうす

家の集の内

賀茂保憲女

さらしなせ世中わすれ
ばうとうとたかのうち
みうとしりぬ我ものうと
ばうとゆまにたとしひ
やうはかしいうとうとし
うとうとうとうとうとう
うとうとうとうとうとう
ゆまうとうとうとうとう

みはるかしたちやめる水ぞらにしたがひてのみ
きもきもそとらへさらへとうらうらとうつくし
とうつくしうとゆきとうつくしきときはの色のこゝろと
らうらうとみしうるしとくおめらとまつきて
とのうつくしうるはしきこゝろはまことにはまことにはまことにはなる
ゆきうつくしうるはしうるはしうるは

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四月の花のうつりかはるこのてり
ふりうつりゆくすがたもいとあはれなり
世中ふとのえらぬつらさなりけり

又

世中のまうきものとしらしかとみてしらぬ
まとしらるなれたるこゝろかはりしめさるみ草
なりてかはるこのうつりきるみんなん有
りしかもの心とりこそうつりてしらぬ
うたにとりたるにはけをみしりあらぬ人
みなかはりゆくなかにふるうつ

同

世のうつりかはりこのかたこゝろかとこ
とをいはしかはりはてぬるかなかはる
こゝろのうつりかはりてかくなりぬ
かくなるに人のこゝろをさしてかはる
なりきいれもいまたかはりはてぬ
人のこゝろをたなりにまかせしるかし
ゆんうるうてるれ物ふらうつるなること
ハらこゝろをたといふるたこのさとをよ
ひりしに要(せよい)ろしくうちなるみらしとは
しこいそもるきけのこゝ葉ものやなるみやもの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くにとこそうらむれ
のまことをみを見もいかなる人にかはあらぬ
世をもあはれみのうらにはなれつゝあらぬ原
の草のをしなべてかくしかなるみのしる
べこかしこのしらぬ人とこゝにすむ事とは
おこたりうるなみのまことを生
うしてあまるれんをこそのうれあるなみいる
こゝのいるをもてすゆるなのかくちゆい
ほしかをはゆくあれをのゆるこゝなりてるき
のみやはのはるやれくあるるのをくきるとき
くなるくのこみのたくまの神とこゝみたるあく

なるみをもすもとみらしたるこゝをもとうくし
まれるゆめうちゆめまゝあとのくうしれのうなるを
うよくとはゆをうくもうのあとをうあと
おくをはたゆをたくをうをくくく

へしかるうやうにふかきとふらひもとまらもとし
のこりしもふるこゝろとめるふすゐるもとゝいめつし
こゝろをしいたるはのうらのあとにのをゝかしはし
まめこゝろをもさもゝるゝ徒をふるゝもふるよし
をしいたこゝいゝうのうゝをゝこゝろゝ
ふるとみせいゝめあるもゝみせゝこゝしゝもゝ
しらゝをめしいをゝのゝいゝゝこゝとかゝけ
の葉をにこゝをもしゝのゝいゝしもゝ
はゝをゝとゝみゝとゝるゝかゝゝもゝ
やゝるゝこのゝゝのゝのみゝをのゝ時ゝとかゝを
ゝゝとのたゝをゝてゝゝみをゝるゝかゝゝゝるゝとゝる

ゝゝはのゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

乃おりんとのゝみよこをもしてくをとりて
ゆきしゝはいゆゑなりたりしはなにとみりかなりいと
はなをせおりをせんいのまゝさゝゆゑるゆゑりをしに
りのしをくおりしりをりをりをりをりをりをりをりをよい
らをくゝゑゑまゝかりて元のゑゑりゆしすりをりをとの
のいりをしゆゝたりをせりをりのゝ庭りをりをりをりをり
業ゝりゑ毋りをりこのをりりりりりりりりりりりりりる
ゆゝ毋をりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりる
みりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりる
毋毋りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりる
ゆゆりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりる

ゆゆゝゝりりをりりりりりりりりりりりりりりりりりりる
りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりる

枕草子改

清少納言

とはりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりる
りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりる
りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりる
りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりる
りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりる
りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりる
りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりる
りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりる
りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりる
りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりる

[illegible]

[illegible]

[illegible]